

実践の場でどのように初心者をTRIZへ導くか

久永 滋 (株式会社デンソー)

概要

当社では2003年よりTRIZの導入を始め、現在まで社内でのTRIZ活用を推進してきている。そこでは、社内の希望者が社内推進者とともに、実際の業務にTRIZを適用して解決を目指す、実践を中心に行っている。TRIZ活用を広げるためには当然のことながら、実践者の多くがTRIZ初心者である。

社内推進者の重要な役割に、多様なテーマに対してどのツールを用い、どのようなアプローチを採るのかを提案することがある。ツール、アプローチの選択に当たっては、テーマに対してだけでなく、実践者のニーズに合わせることも同様に重要である。特に、初心者の場合はTRIZの有用性を認知してもらい、継続活用を促すために、初心者の持つニーズに十分配慮することが必要となる。

導入から現在までの約10年、約250件のテーマの実践の中で経験した、初心者は「TRIZの何に惹かれ、何が理解できないか」、「何がうまく行って、何がうまく行かなかったか」の事例を基に、どのように初心者をTRIZへ導くかを考察する。

内容説明

1. 当社のTRIZ展開推移
2. 2013年報告内容
 - ① 当社のTRIZ活動の特徴
 - ② ソリューションのために
3. 今回の論点
 - ① テーマに合わせたツールだけでは十分でない
 - ② 推進者が配慮すべきユーザーニーズ
4. 実践の場での初心者ニーズ
 - ① 多くの実践の場での3つの初心者ニーズ
 - ② 事例から初心者ニーズを読み取る
5. 実践の経験から読む初心者ニーズ
 - ① リバースTRIZの事例
 - ② 原因 - 結果分析の事例
 - ③ 根本原因の特定の事例
 - ④ 特性パラメータの選定の事例
 - ⑤ 発明原理の事例
 - ⑥ 進化のトレンドの事例
6. 実践の場での初心者ニーズのまとめ
 - ① 初心者ニーズに合わせたツール
 - ② 初心者ニーズのまとめ
7. むすび

